

知的障害教育の各教科等の目標を踏まえた 特別支援学校の指導計画作成システムの構築

企画者	天海丈久（弘前大学教育学部）
司会者・話題提供者	天海丈久（弘前大学教育学部）
話題提供者	石岡徳人（青森県立弘前第二養護学校） 佐藤千佳子（青森県立浪岡養護学校） 加賀谷紀（弘前大学教育学部附属特別支援学校）
指定討論者	佐藤真一（弘前大学教育学部非常勤講師）

KEY WORDS : 教育課程 個別の指導計画 知的・重複障害教育

【企画趣旨】

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領等では、社会に開かれた教育課程の実現、通常との連続性、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立、障害の重度・重複化、多様化への対応等が求められている。したがって特別支援学校においては、カリキュラム・マネジメントを基盤とした自校の教育についての説明責任がこれまでに以上問われることになる。特別支援学校における知的障害教育及び知的障害を併せ有する重複障害教育では、知的障害者のために独自に設けられている各教科等を基に教育課程編成及び個別の指導計画作成が実施されるが、指導の多くは各教科等を合わせた指導や自立活動を主とした指導という形態で展開されている。このため、自立活動と他の教科や領域との関連を整理すること（例えば、菅井,2004）や各教科等の目標が十分検討されないまま指導が展開されていること（例えば、河合,2014）等が指摘され続けている。本シンポジウムは、今後の特別支援学校の知的障害及び重複障害教育における教育課程編成及び個別の指導計画作成システムの在り方を、臨床的視点から検討するものである。

なお本研究は、弘前大学教育学部研究倫理委員会の承認を得て実施された。また事例研究については所属校長からは口頭で、保護者からは文書による同意を得て実施された。

【話題提供者の趣旨】

1. 本研究の全体計画（弘前大学教育学部 天海丈久）

「A 県内特別支援学校における知的障害者及び知的障害を併せ有する重複障害者の教育課程編成及び個別の指導計画作成に係る実態調査」（天海ら、2021）の結果で課題とされた、各教科（知的障害）等の目標及び内容の検討が容易となり、学習の積み重ねを可視化する「学習指導要領評価表」の作成、特別支援学校の知的障害及び知的障害を併せ有する重複障害教育を中心とした教育課程編成及び個別の指導計画作成に係る教員研修の効果について報告する。

2. 特別支援学校（肢体不自由）の特別支援学校（知的障害）教科代替の教育課程に在籍する児童の事例検討（青森県立弘前第二養護学校 石岡徳人）

知的代替の教育課程で学ぶ、各教科 1～2 段階の小学部第 6 学年男子の各教科（知的障害）等の目標設定と、生活単元学習の事例について報告する。「学習指導要領評価表」で対象児の各教科の指導目標を設定し、個別の指導計画に表記した。さらに、生活単元学習の年間指導計画には単元毎に関連する教科等の目標も表記し、研究授業の指導案にも表記して実践を行った。

3. 特別支援学校（病弱）の自立活動を主とした教育課程に在籍する生徒の事例検討（青森県立浪岡養護学校 佐藤千佳子）

自立活動を主とした教育課程で学ぶ、学校に隣接する病院で学習している中学部第 1 学年女子の各教科（知的代替）等の目標設定と、各教科等を合わせた指導の事例について報告する。本事例では、「学習指導要領評価表」をもとに各教科の指導内容を検討した結果、新たに国語科、算数科、音楽科が選択された。そこで、自立活動との目標設定の違いを踏まえ、各教科等を合わせた指導の実践を深めた。

4. 特別支援学校（知的障害）に在籍する児童の事例検討（弘前大学教育学部附属特別支援学校 加賀谷 紀）

各教科 2～3 段階の小学部第 2 学年男子の各教科（知的障害）等の目標設定と、生活単元学習の事例について報告する。本事例では「学習指導要領評価表」を各教科等の年間指導計画及び個別の指導計画作成段階、授業計画作成段階、評価段階で使用した。生活単元学習の年間指導計画及び単元計画においては「学習指導要領評価表」をもとに教科構成一覧を作成したことにより、扱う教科の内容を明確にして目標設定及び評価の実施が可能となった。

【指定討論者の趣旨】

以上 4 つの話題を受けて、佐藤真一氏（弘前大学教育学部非常勤講師）より、養護学校義務制実施前後から今日に至るまでの学校現場における諸課題やその対応等の経緯を踏まえ、今後の特別支援学校における個の教育的ニーズに応じた適切な教育課程編成及び個別の指導計画作成について意見をいただき、討論を深めたいと考えている。

（文献）

天海丈久・高橋寿・岡田一也・飯野茂八・相馬力・工藤浩・石岡徳人・加藤千佳子・下山永子・平川夕美子（2021）A 県内特別支援学校における知的障害者及び知的障害を併せ有する重複障害者の教育課程編成及び個別の指導計画作成に係る実態調査。弘前大学教育学部紀要、125, 177-186.

河合康（2014）特別支援教育における自立活動の在り方。独立行政法人国立特別支援教育総合研究所専門研究 A 研究成果報告書（平成 24 年度～平成 25 年度）特別支援学校及び特別支援学級における教育課程の編成と実施に関する研究、118-124.

菅井裕行（2004）自立活動の目標・内容の選定をめぐって。独立行政法人国立特殊教育総合研究所プロジェクト研究報告書（平成 12 年度～平成 15 年度）盲・聾・養護学校における新学習指導要領のもとでの教育活動に関する実際研究—自立活動を中心に—、194-196.

（本研究は、2019 年度～2021 年度科学研究費助成事業基盤研究（C）JP19K02902 の助成を受けて行われた。）
（AMAGAI Takehisa, ISHIOKA Norihito, SATO Chikako, KAGAYA Michi, SATO Shinichi）